

よみきかせボランティアのための

おすすめえほん



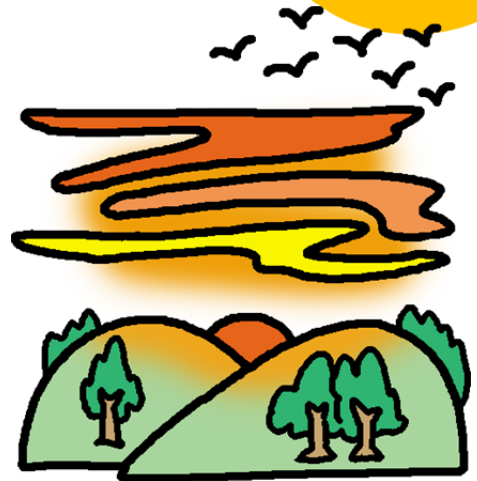
2015
秋号

小学1・2年に
おすすめ

『びっくり まつぼっくり』

多田多恵子／ぶん 堀川理万子／え 福音館書店(約3分)

まつぼっくりの科学絵本。男の子がまつぼっくりを拾って、公園の柵に並べて帰ると、雨の日、小さくなっていた。「どうしちゃったの、まつぼっくり。」持ち帰ると、翌朝にはすっかり開いて元に戻っていた。そこで、開いたり閉じたりするまつぼっくりを使って手品を紹介。読み聞かせのときは「びんづめまつぼっくり」を作っていくことをおすすめします。



小学3・4年に
おすすめ

『やまなしもぎ』

平野直／再話 太田大八／画 福音館書店(約8分)

あるところに母親と三人の兄弟が住んでいた。病気の母親が、ある日奥山の山梨が食べたいという。そこで、一番目の太郎が山梨もぎに出かけていくが、沼の主に飲み込まれてしまう。二番目の次郎も飲み込まれてしまい、三番目の三郎が出かけていく。笹や鳥、ふくべの鳴る所はリズムカルに丁寧に。山梨が歌う歌も調子をつけて読んでみましょう。



子どもに読み聞かせをする人のための 参考資料②

『絵本の記憶、 子どもの気持ち』

山口雅子／著 福音館書店

「思い出の絵本」という女子大生達のレポートから、子ども独特の絵本の楽しみ方をエッセイ仕立てで紹介する。



小学5・6年に
おすすめ

『にぐるまひいて』

ドナルド・ホール／文 バーバラ・クーニー／絵 もきかずこ／訳
ほるぷ出版(約7分)

10月。父さんは、家中みんなが1年間作り育てたものを、荷車に積込んで市場へ売りに行く。そこで、羊毛、蠟燭、ショール、じゃがいも、蜂蜜、楓砂糖などを売り、最後に荷車も牛も売ってしまう。そして、次の1年間に必要なものを買って、家族の待つ家に帰っていく。19世紀初めのアメリカの農民の生活が淡々と描かれる美しい絵本。



県立図書館では、学校などでの読み聞かせの方法について、「よみきかせ相談会」を実施しています。

子ども室カウンターでも、ご質問などをお伺いしています。



発行：福井県立図書館子ども室
(2015.9発行)

〒918-8113 福井市下馬町 51-11
Tel. 0776-33-8860

福井県 図書館

検索